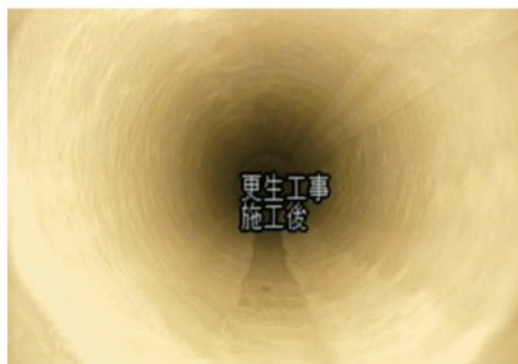
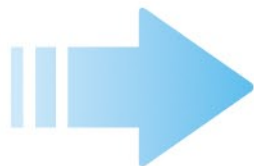


下水道ストックマネジメント計画

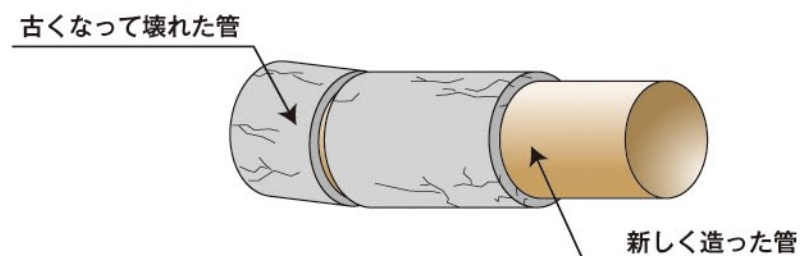
高崎市の下水道の歴史は古く、老朽化した施設を計画的かつ効率的に維持管理するために、「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、施設の長寿命化と予防保全によるリスク回避に努めています。下水道管の長寿命化対策の一つとして、下水道局では管更生工法*により改築工事を行っています。工事期間中は皆様にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



更生前



更生後



※管更生工法とは

古くなってひびが入ってしまった管や、接続したところが外れてしまった管を道路を掘らずに直す工法です。わかりやすくいえば、古くなった管の中に新しい管を造る工法です。

●問い合わせ先 下水道局維持管理課 (電話 027-321-1290)

榛名湖水質管理センターについて

榛名湖水質管理センターは、榛名湖の水質保全のための施設です。

榛名湖は、本市最北部に位置し、榛名富士(榛名山)等の火山活動の結果により形成されたカルデラ湖(周囲約4.8キロメートル、水深最大約15メートル)で、標高約1,084メートルの山上湖のため、水の出入りが少ないことが特徴です。そのため、榛名湖周辺における観光施設等からの排水による榛名湖の水質の悪化を防ぐため、榛名湖周辺特定環境保全公共下水道事業を開始し、昭和56年4月に供用開始しました。

以前の名称は沼ノ原終末処理場でしたが、平成17年に現在の名称になりました。

処理方法は、運転管理が容易な回転生物接触法を採用しています。回転する円板の一部を汚水に、他方を空気に触れさせることによって、円板の表面に微生物の膜を作り、汚れを分解させています。



●問い合わせ先 下水道局施設課 (電話 027-321-1289)

高崎水道工事業協同組合から100万円の寄付

高崎市の水道工事業業者132社(令和3年5月19日現在)で構成している、高崎水道工事業協同組合(宮野守一 理事長)が5月25日、高崎市に対し「新型コロナウイルス感染症対策等、市民のために役立ててほしい」と100万円を寄付してくださいました。

同組合は、水道をはじめとしたライフラインを担う各種事業を行っている団体です。

当日は、富岡市長から宮野理事長へ感謝状が贈呈されました。

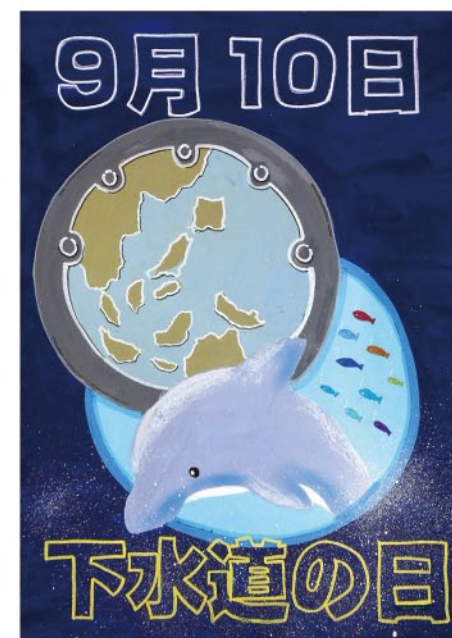


宮野理事長(右)が富岡市長へ目録

●問い合わせ先 水道局経営企画課 (電話 027-321-1282)

第60回下水道いろいろコンクールで入賞

昨年(令和2年)度の高崎市下水道の日ポスター展で優秀賞を受賞した金古小学校の町田寛奈さんの作品が、(公社)日本下水道協会・(株)日本水道新聞社主催の第60回「下水道いろいろコンクール」ポスター部門小学校高学年の部で、応募総数2,893点の中から、厳正なる審査で入賞作品7点の中の一つに選ばれました。おめでとうございます!



●問い合わせ先 下水道局整備課 (電話 027-321-1288)

災害対応給水塔が完成しました

令和3年3月に若田浄水場内に、災害対応給水塔が完成しました。災害時は迅速で安全な給水作業が必要になります。今回新たに設置した給水塔は、給水口を二ヶ所設けることで給水時間の短縮が図れると共に様々な給水車への対応が可能になりました。



若田浄水場に設置された給水塔

●問い合わせ先
水道局工務課 (電話 027-321-1284)
水道局浄水課 (電話 027-321-1286)